

# モダン建築として再利用

マルゲンビル……中央区南8西5



ホテルが立ち並ぶ一角にあるモダンな建物。新しいのに、古い軟石の趣を感じたたずまいに、杉浦さんは最初に見たとき「ただならぬ氣配」を感じたそう。

それもそのはず、1925年（大正14年）、同じ土地に建てられていた115坪（380平方メートル）のみぞ、しょうゆの醸造蔵で用いた札幌軟石を使っているのです。93年に蔵を解体した際、4代目当主の佐藤源五郎さん（70）が「先代が育んだ歴史を次世代へつなげるた

めに、いつか再利用したい」と南区石山地区に軟石や梁、建具などを大切に保管。約25年の時を経て、鉄筋コンクリート造りのビルとしてよみがえりました。材料のほとんどが再利用され、新たな素材は20%ほどしか使つていないうそ。

軟石は洗浄し、設計に合わせて加工。外壁にはカットした軟石を貼っています。時を重ねてさまざまな風合いになつた札幌軟石が、現代風のデザインで見事に再構築されました。